



蓄電池ビジネス創出フォーラム2013 in関西 ～蓄電池の開発と市場の展望を語る～

開催概要

再生可能エネルギーや電気自動車の普及、スマートコミュニティの進展など、これからのエネルギー社会を考える上で、蓄電池の果たす役割はますます大きくなっています。

このようななか、関西には大学、研究機関、蓄電池メーカー等が多く集積し、蓄電池関連の国家プロジェクトが進行中であるなど、蓄電池研究で世界を牽引する高いポテンシャルを有しています。また、関西には、これら研究を産業に展開する高い技術を持つ中堅・中小企業も多く集積しています。

本フォーラムでは、蓄電池産業の動向を紹介し、蓄電池ビジネスへの参入のヒントをご提供することで、蓄電池関連産業の振興、関西経済の活性化に資することを目的とします。

日時・会場

日時：平成25年 **3月7日（木）**

13:30～16:45（13:00受付開始）

会場：エル・おおさか（大阪府立労働センター）

南館10階「南1023」室
大阪府中央区北浜東3-14

定員：100名程度

◎蓄電池に関連する企業

◎蓄電池分野へ参入したい中堅・中小企業

◎産業振興に関わる支援機関や

自治体等の関係者などどなたでも

主催：(株)地域計画建築研究所（アルパック）

協力：経済産業省近畿経済産業局

**参加
無料**

お申込み締め切りは、3月4日（月）です。

プログラム

■ 基調講演 ①

「電池側から見た『動力・産業市場の動向と、その電源』」

松本 功 氏（(株)M&Gエコバッテリー 代表取締役／元 松下電池工業技術研究所 主幹技師）

技術者・経営者として常に電池業界の最前線を走り、ご自身も中小企業として市場参入された経験から、技術開発動向や市場動向等についてお話いただきます



■ 基調講演 ②

「電池市場に参入するためには」

雨堤 徹 氏（Amaz技術コンサルティング合同会社 代表）

これまで、電池の研究開発に携わるとともに、電池とは無縁であった企業の電池市場への参入をコンサルティングしてきた経験から、技術トレンドと電池市場に参入するためのヒント等についてお話いただきます



■ 事例発表

「関西における蓄電池の取組」

- ・「All JAPAN体制による蓄電技術立国日本」（京都大学 産官学連携本部 特定教授 荒井 創 氏）
産官学研究者の集結による革新型蓄電池先端科学基礎研究事業（RISING事業）での研究動向等について
- ・「バッテリーの無限の可能性に挑戦 BSRC」（大阪府商工労働部バッテリー戦略研究センター センター長 任田 正之 氏）
関西イノベーション国際戦略総合特区の中核事業である“バッテリー戦略研究センター”の取組について
- ・「次世代大容量蓄電池～レドックスフロー電池～」（住友電工(株)パワーシステム研究所 二次電池部 主幹 重松 敏夫 氏）
スマートグリッドの実現に向け注目されている新しい電池の開発動向について

■ 平成25年度予算案等について 近畿経済産業局

※講師プロフィール、各事例の概要については裏面参照

講師プロフィール

松本 功 氏 (株)M&Gエコバッテリー 代表取締役/元 松下電池工業技術研究所 主幹技師)

略 歴 : 1968年京都大学工学部卒業後、松下電器・中央研究所に入所。1983年松下電池工業 技術研究所設立と同時に、松下電池工業に出向。1985年京都大学工学博士。1990年松下電池工業 技術研究所主幹技師。1999年松下電器産業 デバイス・環境G電池開発センター部長。2000年松下電器産業を早期円満退職。2001年(有)M&Gエコバッテリー研究所を創設し、現在に至る。

主な研究開発 : 1971年～1978年通産省の大型プロジェクトで電気自動車の開発に携わる。ここで、開発した発泡メチレン電極を、軽量・高容量ニカド電池に応用展開、1985年～1990年世界初のNi/MH電池の開発、及びHEV用までの実用化研究でプロジェクトリーダーを務める。

主な受賞歴 : 1990年「発泡メチレン高エネルギー密度電極の研究」オーム技術賞受賞。1991年「ニッケル・水素蓄電池の開発」電気化学技術賞桐橋賞受賞。

堀 徹 氏 (Amaz技術コンサルティング合同会社 代表)

略 歴 : 1982年岡山大学大学院工学研究科修了、三洋電機株式会社 研究開発本部に入社。1985年三洋電機 現エナジー社へ異動。2008年大阪市立大学工学博士。2010年三洋電機を早期退社。同年Amaz技術コンサルティング合同会社を設立。2012年7月Amaz研究所を新設し、現在に至る。

これまでに、自動車関連メーカ、原材料メーカ等多数の企業の、電池開発及び市場参入への支援を行ってきた経験をもつ。

主な研究開発 : 1989年コイン形リチウム二次電池の量産導入。1994年円筒形リチウムイオン電池の量産導入。1995年アルミニウム外装採用の角形リチウムイオン電池の量産導入。新型電池の開発・量産導入のほか、電池の基本設計や部品の機構設計、プロセス開発や生産設備、保護回路の開発など幅広く関与した経験をもつ。

主な受賞歴 : 1998年「アルミニウム外装」オーム技術賞受賞。2003年近畿地方発明表彰 近畿経済産業局長賞受賞。

事例発表について

革新型蓄電池先端科学基礎研究事業 (RISING事業) とは

京都大学小久見善八教授をリーダーに大学・研究機関、自動車メーカ、電池メーカ等企业を集結したALL JAPANの体制の革新型蓄電池の開発を目指すプロジェクト。

バッテリー戦略研究センターとは

関西イノベーション国際戦略総合特区事業として2012年7月に開設。関西の強みであるバッテリー関連産業の競争力強化のため、特区メリットを活用したバイエリア等への関連産業の集積促進、スマコミ実証支援による新たな製品・ビジネスモデル創出等に取り組む。

レドックスフロー電池とは

太陽光や風力など気候に強く依存する再生可能エネルギーの有効活用・大量導入のため、出力を安定化させるための次世代大容量蓄電池として注目されている。

申し込み方法

● お問い合わせ先

(株)地域計画建築研究所 (アルパック) (担当 山崎・中川・畑中)
大阪市中央区城見1丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル15F
TEL : (06)6942-5732(代) FAX : (06)6941-7478
e-mail : denchi-seminar@arpak.co.jp

● 申し込み方法・締め切り日

参加をご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みいただくか、e-mailにて本文に必要事項を記載しお申し込み下さい。

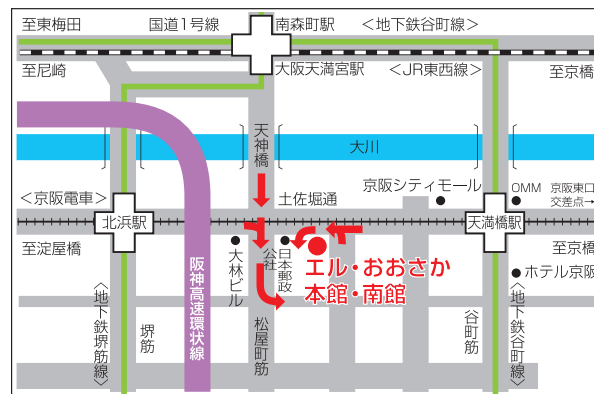
お申込み締め切りは、3月4日(月)です。

なお、定員を超えてしまった際には、お断りさせていただく場合がございます。

● フォーラムに関するWEBサイト :

http://www.arpak.co.jp/whats/whats_top.html#whats20130307

会場案内



《交通アクセス》
京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m
京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m
地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m
JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m

(株)地域計画建築研究所 (アルパック) 大阪事務所 行 (担当 山崎・中川・畑中)
TEL : (06)6942-5732(代) FAX : (06)6941-7478 e-mail : denchi-seminar@arpak.co.jp

FAX : 06-6941-7478

蓄電池ビジネス創出フォーラム2013 in関西 (平成25年3月7日(木)開催) ～蓄電池の開発と市場の展望を探る～

氏名 (ふりがな)	所属・役職
ご連絡先 〒	
TEL : ()	FAX : () E-mail :

近畿経済産業局 地域新成長産業創出促進事業費補助金 (地域新成長産業群創出事業)
次世代 低炭素社会形成・ビジネス創出ネットワーク事業